

5

地域別行動計画

平成 20 年度に検討された小学校区を基本とした 6 つの地区ごとの地域での環境課題とそれに対応する重点的取り組み（行動計画）を示します。

1. 西・赤池小学校区の環境課題と取組

1-1 現況の課題と取組の方向

「水」

- ・天白川にごみや雑草が多いため、活動組織をつくり身近な水辺の清掃活動を行う。効率よく活動できるように清掃範囲や役割分担を定め、他の組織や行政と共働して全市的な活動に拡げていく。また、天白川の水質保全を図るため水質調査、流入排水や不法投棄の監視などを行政が行っていくことが求められる。

「緑」

- ・里山の減少が見られるため、開発事業に際し緑地の確保を図る対策が求められる。
- ・公園の適正な維持管理が求められており、地域でも清掃活動を行い協力していく。
- ・農業公園整備や遊休農地の有効利用が求められる。農家と消費者が直結した農作物の供給システムが望まれており、「地産地消」を積極的に実践していく。

「まち」

- ・歩道や自転車道の整備、交通渋滞への対策が求められる。
- ・地域の環境を保全するための、開発規制を強化したまちづくりが求められる。

「ライフスタイル」

- ・ごみの減量やCO₂削減を意識した生活を実践することが望まれる。
- ・越境ごみ、散乱ごみ、犬猫のフン、ごみ不法投棄への対策の検討が求められる。

「コミュニティ」

- ・パトロールや街路灯を増やすなど、地域のなかでの防犯対策が望まれる。
- ・天白川を考えるコミュニティづくりが求められており、まずは行政主導で市民参加の行事を定期的で開催し、意識高揚を図っていく。

「遊びと学び」

- ・学びの場の充実が求められており、地域、学校、行政が連携して地域の環境を考え学べる場をつくっていく。

1-2 本地域の重点プロジェクト

地域の自治組織が主体となって、以下の取組を重点的に進めるものとします。

〔（ ）は関連する重点プロジェクト〕

『天白川をきれいにするプロジェクト』（源流域元気・小学校区コミュニティプロジェクト）

- ・草刈りやごみ拾いなどの清掃活動を、分担エリアを設定するなどして、幅広い年齢層の参加や交流

ができる形ですすめる。

- ・地域内での活動内容が確実に伝わるように、回覧板の発行などの仕組みづくりに取り組む。

『環境ごみプロジェクト』（ごみのないまちプロジェクト）

- ・市民全員参加で地域のごみ拾いを実施し、ごみのない美しいまちづくりをすすめる。
- ・犬の糞対策、分別徹底や不法投棄の監視制度、ごみに対する市民意識の向上を働きかけていく。

『安全マッププロジェクト』（みんなにやさしい交通プロジェクト）

- ・地域内道路について危険箇所を明らかにし、信号機などの交通安全施設の整備を働きかけていく。

2．東小学校区の環境課題と取組

2-1 現況の課題と取組の方向

「水」

- ・きれいな天白川を取り戻すため、生活排水対策、排水流入状況の調査・把握、川の中の清掃と維持管理を行っていく。また、治水面から農地の宅地転用の抑制が求められる。

「緑」

- ・地域に残る里山の保全が求められており、具体的な方法を検討していく。
- ・土砂採取跡地への廃棄物不法投棄の不安があり、対策の検討が求められる。
- ・遊休農地の有効利用が求められており、市民菜園としての利用、収穫物の販売などを検討していく。

「まち」

- ・歩道、自転車道の整備が求められており、市民参加で危険箇所の総点検を行っていく。また、交通安全のため自動車利用を控え、徒歩・自転車の利用に転換していく。
- ・道路渋滞緩和対策、安全対策、大気汚染、騒音対策が求められる。
- ・天白川沿いには桜並木等の散歩道整備が望まれ、遊歩道の管理は地域で行っていく。
- ・藤枝地区には公園が一つもなく、整備が望まれる。

「ライフスタイル」

- ・合成洗剤をやめて、石けんや重曹などを使用し、河川の水質を改善する生活排水対策が求められる。
- ・ごみの分別排出ルール徹底、散乱ごみ、犬猫のフン対策が求められる。
- ・ごみの不法投棄防止策の検討が求められる。

「コミュニティ」

- ・道路の散乱ごみ回収や通学路への不審者出没に対する防犯対策が求められており、地区のテーマに沿った地域コミュニティ（活動団体）立ち上げを検討していく。

2-2 本地域の重点プロジェクト

地域の自治組織が主体となって、以下の取組を重点的に進めるものとします。

〔（ ）は関連する重点プロジェクト〕

『河川対策プロジェクト』（源流域元気・みどりいっぱいプロジェクト）

- ・河川の清掃、草刈り、流入排水路の水質測定などの活動に地域として参加していく。

- ・河川沿いの植樹や散策道整備を働きかけていく。

『里山の調査・整備プロジェクト』（東部丘陵自然公園・みどりいっぱい・にしんのんびり村プロジェクト）

- ・地主の理解・協力を得て、里山の保全のための調査や憩いの場の整備を市民で行っていく。

『安全マッププロジェクト』（みんなにやさしい交通プロジェクト）

- ・地域内の道路について、徒歩、自転車で通行してみて危険箇所を明らかにした「安全マップ」の作成に取り組み、歩道、信号機などの交通安全施設の整備を働きかけていく。

3．北小学校区の環境課題と取組

3-1 現況の課題と取組の方向

「水」

- ・生活排水による水質汚濁や河川内のごみ散乱に対して、公共下水道整備や合併浄化槽設置、清掃や草刈りなどの活動を進める。
- ・河川環境整備のための地域の管理活動が効率よくできるように、行政の取りまとめや関係機関調整、支援が望まれる。

「緑」

- ・希少生物種の保全や農地の保全、地産地消の促進が求められる。
- ・食の安全、地産地消の面から農産物販売所や有機肥料の使用などを検討していく。
- ・小学校が遠く、夏季に日影を得るため街路樹の整備が望まれる。

「まち」

- ・歩道の整備、道路の拡幅が求められており、生活道路を広くするための側溝覆蓋、集落内道路の通過交通を減らすためハンパなど車が通り抜けしにくくなるような仕掛けの整備を検討していく。
- ・大規模開発に総合的・計画的コントロールが求められる。

「ライフスタイル」

- ・道路沿いの散乱ごみ対策が求められており、地区一斉ごみ拾いを検討していく。
- ・生ごみコンポスト化など、ごみの減量・リサイクルの推進が望まれる。

「コミュニティ」

- ・地域において、環境基本計画の存在が知られておらず、行動に向けて計画の周知が求められる。市民参加で意見交換や行政からの情報伝達も行う機会を検討していく。
- ・地域間でのコミュニケーションを強化し、活動を強化することが求められおり、ごみ拾い等のイベント情報を、学区の回覧以外に広報にも載せ周知を図っていく。

3-2 本地域の重点プロジェクト

地域の自治組織が主体となって、以下の取組を重点的に進めるものとします。

〔（ ）内は関連する重点プロジェクト〕

『川と源流域を大切に作るプロジェクト』（源流域元気・東部丘陵自然公園プロジェクト）

- ・河川の清掃、草刈り、堤防のり面への草花植栽などを地域で取り組む。

『市内美化運動プロジェクト』（ごみのないまちづくりプロジェクト）

- ・区域内の幹線道路について、缶・ビンなどの散乱ごみ、自転車などの不法投棄の回収に取り組む。活動は回覧で周知し、地域全員で定期的実施していく。

『みんなに伝えるプロジェクト』（小学校区コミュニティ・環境情報プロジェクト）

- ・地域内の活動の内容や参加の方法を全世帯に周知できるよう、回覧板や口伝えできめ細やかな情報発信を行っていく。
- ・定期的に市民が参加できるイベントを市民スタッフで企画、開催し、その場を借りて情報提供を行っていく。

4．南・梨の木小学校区の環境課題と取組

4-1 現況の課題と取組の方向

「水」

- ・河川の水質汚濁対策が求められており、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の導入のほか、地域による定期的な水質検査を進める。
- ・折戸川について親水整備、水源地の保全が望まれ、折戸の湧水を利用したビオトープ整備への期待も高い。

「緑」

- ・里山保全活動への地域団体、NPO、専門家、企業など幅広い連携、参加が求められおり、折戸川湧水周辺の竹林の整備、街路樹に名札をつけるなどの活動に地域の参加を呼びかけていく。
- ・土地区画整理事業など開発事業における既存緑地を残す方策の検討、公共建築物立地に伴う道路や歩道の緑化が求められる。

「まち」

- ・公園のない地区における公園整備、公園愛護会の活動の拡大が望まれる。
- ・安全な通学路の整備（歩道等）や、通行の確保（段差解消等）が求められており、歩道の危険箇所など気づいたことを行政に伝えやすくする仕組みや、防犯カメラなど、歩道を安全に通行できるような対策を進める。

「ライフスタイル」

- ・排ガス対策のため自動車の利用を減らすことが望まれ、公共交通機関、自転車などの利用を進める。

「コミュニティ」

- ・地域で実施しているごみ拾い活動などを、全市的な活動となるように、行政が支援を行い、一般参加者を増やしていく。

4-2 本地域の重点プロジェクト

地域の自治組織が主体となって、以下の取組を重点的に進めるものとします。

〔（ ）内は関連する重点プロジェクト〕

『折戸川の水と緑のコミュニケーションプロジェクト』（源流域元気・親水基準・環境情報プロジェクト）

- ・折戸川を軸に、以下に示す水、緑、環境教育の複合的な取組を行っていく。

- ・市民参加による定期的な水質調査により、現況を把握するとともに水質浄化を図るための家庭内生活排水対策の普及
- ・河川（天白川、折戸川）における河道、堤防、堤防道路の定期的な清掃活動を地域で取り組む（アダプトプログラムの活用）
- ・ホテルが生息できるような、多様な生態系を有する水辺環境づくり
- ・川沿いの街路樹の管理、周辺の竹林の管理
- ・親水施設の整備（ベンチ、水辺に下りる階段等）に向けた働きかけ
- ・四季の自然観察会など、環境教育の場としての活用。
- ・いろいろな人が参加できるような情報伝達の仕組みづくり

『みどりを守り増やすプロジェクト』（みどりいっぱいプロジェクト）

- ・市街化区域内緑地の保全を図る制度の導入に向けて検討をすすめる。
- ・公園等の植樹を市民の手で行うなど公有地の緑化活動に参画していく。
- ・地区内（蟹甲地区）の公園整備を働きかけていく。
- ・小学校学習林の整備について、地域で継続的に取り組んでいく。

『人と地球にやさしいライフスタイルプロジェクト』（エコ生活・みんなにやさしい交通プロジェクト）

- ・大気汚染防止を図るため、マイカー規制やバス・自転車利用促進などの制度を働きかけていく。
- ・図書館周辺の大気・騒音の調査を地域で行い、結果を公表して対策の必要性を働きかけていく。
- ・打ち水による気候緩和効果の実証に取り組む。

5．相野山小学校区の環境課題と取組

5-1 現況の課題と取組の方向

「水」

- ・河川水質の保全、生活環境の改善が求められており、公共下水道の整備、河川への汚水流入対策を進める。
- ・砂利流出で河床が上昇しているため、治水面から河川整備が求められる。また、併せて河川の親水整備が望まれる。

「緑」

- ・東部丘陵の開発防止、自然保護を図るため、東部丘陵の公園化にあたって、地域として計画、運営・管理など様々な場面にあたって協力していく。

「まち」

- ・地域の高齢化に伴う、公共交通の利便性の向上が望まれる。
- ・歩道、自転車道の整備が求められており、通学路表示など安心して通行できる自転車道の整備について検討していく。
- ・地域における自動車交通量、渋滞の増加に伴い大気環境保全が求められており、大気汚染の定点観測の実施による実態把握、公表について検討していく。

「ライフスタイル」

- ・東名高速道路や土砂採掘跡地では、ごみの不法投棄防止に向けた監視が求められる。
- ・ごみ収集ステーションの設置個所の確保が困難であり、戸別収集の実施が望まれる。

5-2 本地域の重点プロジェクト

地域の自治組織が主体となって、以下の取組を重点的に進めるものとします。

〔（ ）内は関連する重点プロジェクト〕

『市民参加による東部丘陵自然公園づくりプロジェクト』（東部丘陵自然公園プロジェクト）

- ・東部丘陵自然公園整備に際し、計画づくり、整備、管理運営、イベント開催に全市的な市民参加とともに地域として参加する。特にイベント時には案内役ができるようにしていく。

『岩藤川水遊びプロジェクト』（親水基準プロジェクト）

- ・岩藤川の水遊び場を地域でつくり、清掃等の維持管理も地域で行っていく。

『五色園エントランスプロムナードプロジェクト』（みどりいっぱいプロジェクト）

- ・五色園西側進入道路への街路樹整備を働きかけ、整備後の維持管理は地域で行っていく。

6 . 香久山小学校区の環境課題と取組

6-1 現況の課題と取組の方向

「水」

- ・地域内の河川（水路）の流量が少なく、流量確保が望まれる。
- ・洪水調整池について、空間の有効利用が望まれる。

「緑」

- ・地域内の遊休農地の管理が不十分で、環境面から雑草刈りが求められる。
- ・遊休農地を市民菜園として利用できる方法を検討していく。
- ・街路樹も適切な管理が望まれる。

「まち」

- ・子どもの野外遊び場、遊歩道の整備、まちなみ・景観の整備が望まれる。
- ・交通渋滞の面から、道路の早急な整備が求められる。

「ライフスタイル」

- ・ごみの分別排出の徹底と収集ステーションの整備・管理が求められており、地域でゴミ収集場所の管理・清掃、転入者への分別ルールの周知を図っていく。また、ごみ減量への取組と散乱ごみ、犬猫のフン対策も求められる。

「コミュニティ」

- ・公園愛護会の活動により公園がきれいに保たれているが、活動自体が市民に知られていないのが実情であり、活動内容を伝え参加者を増やしていくことが求められる。
- ・地域活動の情報は地域の皆に伝え、周知を図っていくとともに皆が参加できる催事を企画していく。また、昔の遊びの伝承など地域での取組や子どもの野外遊び場の整備が求められている。

6-2 本地域の重点プロジェクト

地域の自治組織が主体となって、以下の取組を重点的に進めるものとします。

〔（ ）内は関連する重点プロジェクト〕

『ふるさとのまつりづくりプロジェクト』（小学校区コミュニティプロジェクト）

- ・地域の子ども達のふるさとづくりとなるよう、子ども会などでみこしをつくるなど、みんなが参加できる地域のまつりづくりを行っていく。

『休耕地有効利用プロジェクト』（農業公園プロジェクト）

- ・区域内における耕作放棄地の実態把握を行う。
- ・土地所有者の意向確認を行い、草刈り等の管理を地域で取り組んでいく。
- ・市民農園として利用できる手法の検討を進めていく。

『植栽帯の美化プロジェクト』（みどりいっぱい・ごみのないまちプロジェクト）

- ・アダプトプログラムや公園愛護会との連携により道路に面する居住者や地域自治組織で道路植栽帯の美化活動を行い、犬の糞やごみの捨てにくい美しいまちにしていく。

